

バプテスト相互間関係のための行動指針とガイドライン

～バプテスト間相互関係に関する総主事付特別委員会提案～

序文：世界バプテスト連盟：一致と多様性

1. 「世界バプテスト連盟は、世界各地に広がるバプテストたちが主イエス・キリストにあって本質的に一つであることを表現するために存在している。」

2. 世界バプテスト連盟（BWA）は、バプテストの世界的運動体として存在し、イエス・キリストへの信仰告白を共有し、神の愛によって一つに結ばれ、聖霊の力によって、損なわれ傷ついた世界の前にイエス・キリストの福音を宣言し、かつその福音を生きるため、互いに支え合い、励まし合い、強め合う。」（2）

3. BWAは5つの働きの分野において構成される。すなわち、礼拝と交わりを共にすること、ミッションと伝道への情熱を養うこと、信教の自由と人権を守ること、救援活動及び持続可能で環境維持に配慮した共同体建設を通して人間の必要に応えること、及び現代にふさわしい神学的考察を促進すること、である。（3）

4. その始まりから、BWAは「世界中のバプテスト主義による諸教会」（4）の家族であると理解されている。しかしながら、創設初期において、BWA会員はほとんどが西欧諸国の連盟や連合であった。過去1世紀に渡り、BWAファミリーは、東西南北からの加盟団体によって拡大し、真の意味で世界的な組織へと成長してきた。

5. BWA会員の成長は、文化的多様性の増大を特徴とする。この多様性には種々の文化、言語、習慣、歴史、民族的アイデンティティ、神学的確信の諸表現、及び異なる文化的文脈におけるキリストのとの個人的及び共同体的な出会いを含む。神の恵みにより、BWAは、キリストの一つの体のもつ豊かな多様性を、目に見える形で反映しているのである（5）

6. BWAは、その会員の特色である多様性に直面しつつ、一致への決意を現実に生き抜くことを求める。BWAは、多様性とは神の与えた賜物であると考えている。それゆえ、それに対して異を唱える意見があったとしても、多様性こそが神の国を実際に表現するために不可欠であると考えている。BWAが創設された目標に到達するため、また、それらの目標こそがBWA会員間の協力の基盤であることを覚え、BWAは細心のバランスを保たね

ばならない。そのバランスとは、組織としては会員の特徴である多様性を尊びその祝福に与りながらも、目的と共通の責務においては一致を保つことの二者間にあるバランスである。

7. BWA が世界的に一致を保つことを共通の責務とする最大の長所の一つは、我々の豊富な多様性のもとで、BWA 会員の間にかかれた対話のための余地をもうけようとする能力である。その余地のゆえに、BWA は、会員たちが BWA の各集会に持ち込み、かつそこで表明するところのさまざまな聖書的、神学的、経験的な視座のもたらす果実の恵みにあずかることが可能となる。我々バプテストの信仰についての新しい視座、及びその文化的表現は、BWA 内では神の賜物として感謝をもって分かち合わせ、また受け入れられている。

8. しかしながら、深い多様性のただ中で BWA が開かれた対話と率直なコミュニケーションを実現していこうとする決意は、我々が神に招かれた目的である一致（6）に対し、かつてない最大の挑戦をも提示することとなる。その挑戦とは、言語を通してのコミュニケーションの困難、とりわけ一つの言語から複数の言語に翻訳される際に明確で正確、かつ誰もが共通して理解できるコミュニケーションに到達することへの難しさという形でやって来る。その困難がより強化されるのは、善意の個々人が、BWA ファミリーに属するさまざまな会員によって表明される視座の源となる聖書的、文化的、歴史的、また神学的固有性について知らなかったり、また十分に理解していない場合である。

9. BWA 内で、BWA 運動を特徴づける多様性を喜びながら同時に一致を保とうとする決意は、我々に積極的な一步を踏み出すこと、すなわち、我々の一致を促進させ、誤解の起こりうる機会を少しでも軽減することへと導く。この点に留意しつつ、BWA は、諸会議に出席する、あるいは BWA の働きに参与するバプテスト間のディスカッションと対話のために、下記の行動指針とガイドラインを承認するものである。

行動指針とガイドライン

1. 「神は何でもできる（神と共なればすべてのことは可能です）」（7）、そしてキリスト・イエスなしには、私たちは何事もなしえない。それゆえ、すべての BWA 諸会議は、神の臨在と導きを認める礼拝という文脈で行われる。

2. キリスト者は有限な存在であり、恵みによって救われた罪びとである。（9）それゆえ、私たちの持つ知識や理解が完全で誤りがないと考えることはできない。このことにより、私たちの意見や視点は、常に謙遜の精神をもって、聖霊が私たちの会話や傾聴を

導いて下さることを願いながら、表現されねばならない。

3. すべての人間は神にかたどって創造された。(10) キリストにあつて、私たちは絶えず御子キリストの姿に似た者となるよう造り変えられ(11)、一つのキリストの体として共に形づくられるのである。(12)「私たちはすべての人間、すなわち男性と女性の尊厳を認める。なぜなら、男性も女性も神にかたどって創造され、聖なる者となるよう召されているからである。」(13) さらに、キリストの体の一員として、私たちは互いが互いに属している。BWA 会員が、ある一つの課題や立場をいかに情熱的に擁護したとしても、その会話や対話は常に課題の原理原則に集中すべきであり、決して特定の個人や文化、地域、国家、教派団体に向けられてはならない。私たちの会話や対話、ディベートは、決して個人の人間性や人間全体、他者のキリスト教信仰と献身を攻撃するような質的低下を招いてはならない。

4. 私たちは皆、一つの信仰によって家族となった者たちである。(16) 私たちはそれゆえ、宣言する。「聖霊によって、私たちは、神の民である教会というこのダイナミックな弟子性を分かち合う者たちと共に、互いの相互依存性を経験する。」(17) バプテスト信徒の世界的な共同体として、私たちは他者の多様な視点を聞き、理解し、尊重することを積極的に求めない限り、自らは不完全な存在にとどまるのである。それらの他者とは、とりわけ植民地主義や帝国主義の負の遺産である物質的貧困によって周辺化された文化から来た人々である。それゆえ、私たちは、ある特定の文化的視点が、あたかも BWA 全会員を規定する経験や神学的視座を提供するものとしてその優位性を認め続けるような行為、また会話を、努めて避けるものとする。

5. BWA 会員は私たちの豊かな多様性を現す言語という神の賜物を喜ぶ。言語は私たちのアイデンティティの指標であり、その人固有の歴史や文化を肯定するものである。それゆえ BWA は、会員がそれぞれ自身の言語で聞き、語ることを助けるために、さらに広い機会を提供する必要を認める。(18) この目的の為、BWA は、私たちが行う諸会議において、さまざまな言語によるコミュニケーションを可能にするのに役立つ種々のツールの必要を認め、活用していく所存である。

6. 私たちは互いに愛し合うために召された。(19) これによって、私たちは私たちがキリストの弟子であることを立証する。(20) 真の一致と交わりとは、その関係が他者を認め尊重することを超えて相手への配慮と関心になっていかなければ、真に実現されたとは言えないと、私たちは考える。それゆえ、BWA 諸会議に出席する代表たちは、公式会議内はもちろんそれ以外でも思慮深く祈り心のある会話を互いに交わすことによって、永続的かつ有意義な関係を構築していくよう、努めるものとする。

7. 私たちは、バプテストが、いわゆる「真理」と言われるものを構成する要因を含め、種々の多くの課題について、幅広い意見や視点を擁することで知られているのを認める。

そして意見の違いによらず、それでも、私たちは互いに愛し合い、相手を受け入れ合うのである。(21) ある意見や視点が非常に不備で欠陥をもつものである時でも、私たちはお互いを見知らぬ他人や敵としてではなく、愛する神の家族として受け止め、その意見や視点を共に是正し合う。そしてその是正は、愛をもってなされなければならない。

(22)

8. 私たちは互いの利益を求めよう努める。(23) それゆえ、私たちはこのように励まし合い、かつ期待する。ある発言者が語ろうとする意見または視点が明確に言語表現されず理解されない状況があった時、つまりそれはおそらく言語または文化的障害によるものであると考えられるが、そのような状況下では、その会議の司会者あるいは議長が、相手に対する敬意をもって、その発言者が主張したい論点を明確にできる機会を必ずもうけなければならない。これにより、あとに続いて起こる会話は発言の意図する意味に集中することが可能となり、先になされた発言についての不確かな推測を避けることができる。私たちの会議における発言者は、誰もが、不当な妨害を受けずに最後まで論点を語る自由を保障される。例外的な場合として司会者による介入があるが、それは発言内容と発言態度が不適切に敬意と礼儀を欠いた時だけである。

9. 私たちの会合においては、すべてが適切に、秩序正しく行われるべきである。(24) 参加者全員は司会者あるいは議長の権限に従い、他者の多様性を尊重し、BWA 家族にとって聖霊の賜物である一致を実際に体現するよう努めるものとする。

【翻訳：日本バプテスト連盟 坂元幸子】

Translated by Sachiko Sakamoto, Japan Baptist Convention

~~~~~

<脚注>

1. BWA 憲章序文。
2. 21世紀委員会によって提言され、2005年イギリスのバーミンガムで開催された第19回世界大会で採択された BWA ヴィジョン宣言より。
3. 21世紀委員会の尽力によって作成された BWA の働きの分野に関する声明より。
4. 1905年の発会総会で採択された BWA 憲章の「序文」より。詳しくは BWA 世界大会1905年7月11日—19日、ロンドン、公式記録を参照のこと (バプテストユニオン出版部発行、1905年)
5. I コリント 12 : 12, 27、ローマ 12 : 4
6. エフェソ 4 : 3

7. マタイ 19 : 26
8. ヨハネ 15 : 5
9. エフェソ 2 : 5、8、I コリント 13 : 9
10. 創世記 1 : 26 - 27
11. ローマ 8 : 29
12. ローマ 12 : 4 - 5
13. **BWA** 百周年記念宣言第 11 項目より。
14. ローマ 12 : 5
15. コロサイ 4 : 6 を見よ
16. ガラテヤ 6 : 10
17. **BWA** 百周年記念宣言第 8 項目より。
18. 使徒 2 : 5 - 12 を見よ
19. ヨハネ 13 : 34、I ヨハネ 4 : 7 - 12
20. ヨハネ 13 : 35
21. ローマ 15 : 7
22. エフェソ 4 : 15
23. フィリピ 2 : 4
24. I コリント 14 : 40